

## よこはま動物園ズーラシア コウノトリの「白藤」が死亡しました



よこはま動物園で飼育していたコウノトリの「白藤（シロフジ）」が死亡しましたので、お知らせします。

### ○死亡したコウノトリ

- (1) 性 別      メス
- (2) 出 生 日    平成 10 年 4 月 17 日 (27 歳)
- (3) 死亡日時    令和 8 年 1 月 19 日 (月) 正午頃死亡確認
- (4) 死      因    心不全疑い (病理検査待ち)
- (5) 経      過    1 月 19 日の朝に食欲の低下が見られましたが、そのほかの異常は見られませんでした。  
正午頃に様子を確認したところ、死亡を確認しました。

### ●白藤のプロフィール

平成 12 年に兵庫県立コウノトリの郷公園から当園に来園しました。

平成 18 年に当園で初めての繁殖に成功したペアのメスで、その際に 4 羽の雛を育てました。

最近バックヤードで飼育しており、穏やかに過ごしていました。



横浜市SDGs認証制度



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法      Tel 045-959-1298

【参考資料】

■コウノトリについて

和 名	コウノトリ
英 名	Oriental Stork
学 名	<i>Ciconia boyciana</i>
分 類	コウノトリ目 コウノトリ科
分 布	アムール川流域、中国南東部
生 態	両翼を広げると2メートルを超える大型の鳥で、湿地や河川などを好んで生息します。餌は魚や両生類、昆虫などの小動物が中心です。巣はアカマツなどの大木の上に枝を組んで作り、その大きさは直径約2メートルにもなります。
保 全 状 況	かつては日本各地に広く分布していましたが、明治期以降の乱獲や餌資源の減少、営巣に適した樹木の伐採などにより個体数が激減しました。昭和31年には文化財保護法に基づき、国の特別天然記念物に指定され、保護政策が取られましたが、減少は止まらず、昭和46年に野生では絶滅しました。一方、飼育下では繁殖に成功し、平成17年にはコウノトリの郷公園（兵庫県）が野外への放鳥を開始し、野生復帰が実現しました。平成19年には放鳥個体が野外で自然繁殖するようになり、その後も放鳥と野外での自然繁殖が続いています。現在（令和7年6月末時点）では、500羽を超えるコウノトリが野外で確認されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅰ：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧ⅠB類 (EN) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育羽数	3羽（オス2羽、メス1羽） ※今回死亡した個体含まず
国内飼育羽数	17施設195羽（オス93羽、メス89羽、不明13羽） ※令和7年7月31日時点（傷病救護一時収容のみの2園館含む）

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入 園 料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料  
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）  
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休 園 日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1
- ◆交 通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、JR横浜線・横浜  
市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約18分、「横浜」駅から「よこは  
ま動物園」行きバスで約1時間
- ◆U R L：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住 所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000